

第8次 春日井市高齢者総合福祉計画の重点事業(案)

【高齢者の状況と背景】

- ① 超高齢社会が進展し、人生百年時代に向けて、健康寿命の延伸が重要な課題
- ② 老々介護、ダブルケア、8050問題など複雑化・複合化した支援ニーズへの対応
- ③ 認知症高齢者が増加(2025年には市内で1万人に)し、認知症施策推進大綱への対応
- ④ 2040年に向け現役世代の減少と高齢人口のピークを迎える。介護需要等を踏まえた人的基盤及び介護サービス提供体制の整備が必要
- ⑤ 新型コロナウイルス等の感染症や災害発生などに対するリスク対応

重点事業1 介護予防・健康づくり施策の充実(健康寿命の延伸)

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
- 保険者機能強化推進交付金等を活用した高齢者の自立支援、重症化防止

重点事業2 包括的な支援体制の構築

- 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、3つの支援(断らない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援)を一体的に実施する包括的な支援提供体制を整備

重点事業3 認知症施策の総合的な推進

- 認知症施策推進大綱等を踏まえ、認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、認知症の人やその家族の意見も踏まえた施策の推進

重点事業4 介護人材の確保と介護サービス提供体制の整備

- 地域の包括ケアシステムを支える人的基盤の確保を図るため、総合的な介護人材の確保対策や介護ロボットやICTの活用による介護現場の革新を促進
- 高齢者向けの住まい(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)を含めて介護サービス基盤の整備とサービスの質の向上の推進

重点事業5 災害及び感染症対策に関する体制の整備

- 要配慮者受入施設の避難計画の作成や避難支援の体制を強化
- 新型コロナウイルス感染症などの感染症対策の強化と感染症発生時のサービス継続を支援する体制の整備